

【養成する人材像】

多文化共生マインドを基礎として、自文化理解はもとより異文化理解力と外国語運用能力を有し、対話と協調に基づいたパートナーシップを育み、地域の国際化のために主体的に行動できる人材

【卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

DP1【知識・技能】			DP2【思考力・判断力・表現力】			DP3【主体性・多様性・協働性】	
グローバル化する国際社会において、多様な文化の価値を幅広く理解することで、国際的視点を持ち、地域の国際化に対応できる知識及び外国語運用能力を備えている。			異文化を尊重できる柔軟な思考力を持ち、異なる文化・世代の人々とも未来に向けた対話ができる判断力・表現力を身に付けている。			自らが暮らす地域コミュニティや働くフィールドで、対話と協調に基づいたパートナーシップを育み、地域の国際化のために主体的に行動することができる。	
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2
国内外の自らが暮らす地域の文化を理解できる知識を有する。	多文化社会において必要となる基礎的な知識を有する。	多様な文化を理解できる国際的な視点と外国語運用能力を身に付けている。	国内外の社会的・文化的多様性を尊重できる柔軟な思考力を有する。	物事の文化的側面を公正に判断することができる。	異なる文化、世代間でも交流できる論理的な表現力を有する。	国内外の多様な文化的背景や異なる考えを持つ人に、対話と協調に基づいたパートナーシップを育むことができる。	身に付けた知識と経験を活用して、地域の国際化のために主体的に行動できる。